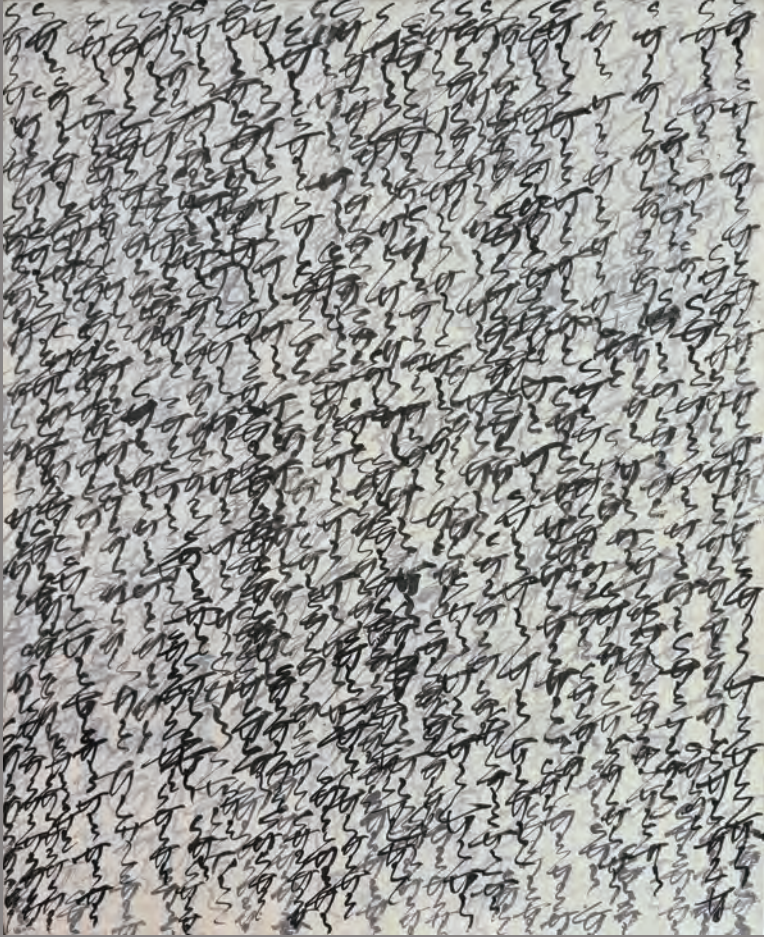


# 青木一香展

IKKOH AOKI EXHIBITION



「Voices」和紙、墨

作品によせて  
呼吸を墨による「無」の文字に置きかえ  
その集合をイメージとして作品をつくっています。  
文字の線は重なりながら  
墨の世界への扉を開けてくれます。  
それを宇宙の、地球の声として聞いています。  
作品は地球と、  
そこからとび出した小さな声として作ってみました。

青木一香

二〇二四年五月一日

## 青木一香 略歴

1942年 岐阜市生まれ。4歳から沼津市在住。

幼少より父から書の手ほどきを受ける。

1960年 現代美術研究所にて、川口軌外、田口安男 等に学ぶ。

1966年 東京藝術大学油絵科卒業（牛島教室）

1968年 沼津美術研究所設立。

1967年以降、国内外において多数の展覧会を開催。

1987年には『日仏現代美術展』（パリ、東京）水墨画部門優秀賞を受賞。

主な展覧会に、1986年『現代の白と黒展』（埼玉県立近代美術館）、1994年『郷土ゆかりの画家展』（佐野美術館）、2022年『墨のこえ』（知半アートプロジェクト）、『日本現代画家グループ展』（パリ）、『日仏現代美術展』（パリ）、『A-value 展』（メトロポリタン美術館、マニラ）、その他 ウクライナ（キーウ）、沼津御用邸記念公園 等多数。



「Voices」和紙、墨

2024年7月15日（月祝）～9月16日（月祝） 10:00～18:00 観覧無料

休館日 8月19日（月）～22日（木）、9月9日（月） ロゼシアター休館日に休館

特別講座 アーティストトーク 7月15日（月祝） 10:30～11:30 参加無料 申込不要

お問い合わせは お電話にてご連絡ください。最新情報はHP・facebookをご参照ください。

主催 富士市 主管 一般社団法人富士芸術村

ふじ・紙のアートミュージアムは、紙を素材とした芸術作品を展示します。そして、「つなげる・つながる」をテーマに芸術文化活動をしていきます。当ミュージアムが拠点となり、富士市全体がミュージアムになることを願っています。2016年11月1日開館

- 交通 車の場合は、東名富士インターチェンジより約2.3km、国道1号より約2.2km、新富士駅より約2.2km、富士駅より約2.6km  
バスの場合は、JR富士駅（北口バス停）から15分「ロゼシアター入口」で下車し徒歩2分  
新幹線JR新富士駅（北口バス停）から15分「ロゼシアター前」下車  
\*発車駅によって到着するバス停が異なりますのでお帰りの際はご注意ください。
- 駐車場 富士市文化会館ロゼシアターの駐車場をご利用ください。  
\*ロゼシアター開催の公演により混雑する場合があります。



ふじ・紙のアートミュージアム  
Fuji Paper Art Museum

〒416-0953 静岡県富士市蓼原町 1750 番地 富士市文化会館ロゼシアター1階 東側奥  
TEL.0545-32-6581 FAX.0545-32-6582 <https://www.fuji-paperart.jp>